



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社 南陽
コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠崎 学

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 井上 毅

TEL 092-472-7331

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,034	1.6	2,200	8.4	2,427	9.1	1,587	10.2
2024年3月期第3四半期	27,488	2.4	2,029	1.6	2,226	2.0	1,441	1.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,296百万円 (34.5%) 2024年3月期第3四半期 1,978百万円 (19.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	127.07	
2024年3月期第3四半期	112.90	

(注) 当社は2024年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	40,483	25,340	62.6
2024年3月期	42,886	24,692	57.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 25,340百万円 2024年3月期 24,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		15.00		86.00	101.00
2025年3月期		10.00			
2025年3月期(予想)				44.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

・2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 79円00銭 記念配当 7円00銭

・当社は2024年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定すると、2024年3月期の配当金の額は第2四半期末7.50円、期末43.00円、合計50.50円となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	3.9	2,700	3.1	2,900	4.5	1,900	4.6	152.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	13,230,140 株	2024年3月期	13,230,140 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	729,909 株	2024年3月期	741,122 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	12,495,256 株	2024年3月期3Q	12,765,216 株

(注)2024年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、緩やかな回復傾向にある一方で、中国経済の減速や地政学的リスクの高まり、国内外の金利の動向、米国の新政権発足による対外政策の影響等が懸念されることから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は27,034百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は2,200百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益は2,427百万円（前年同期比9.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,587百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、資源価格の高騰による商品価格の値上げや自動車の認証不正問題に伴う長納期化等の影響により先行き不透明な状況が継続する中、販売部門においては、顧客ニーズに合わせた中古機械や、値上げ前に先行手配した機械を中心に価格・納期面から提案営業を強化するとともに、新規顧客や新商品の開拓にも努めてまいりました。また、レンタル部門において、好調な民間企業の需要獲得に注力した結果、稼働率が向上したことにより売上高は10,243百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は1,442百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、中国経済の減速や米国の新政権発足による対外政策の影響等が懸念されることから設備投資を調整する動きが見られる等、先行き不透明な状況で推移する中、深耕営業の強化や、展示会等を通じてAI・IoTに関連する取引先の開拓に注力したほか、継続して生産部品、消耗部品の拡販にも努めてまいりました。しかしながら、設備機械の販売が減少したことにより、売上高は16,371百万円（前年同期比4.2%減）となりました。その一方で、セグメント利益につきましては製造子会社において業績が好調に推移したことにより、1,277百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、事業を展開する地域において、大口の公共工事需要が継続したほか、一部の取引先が好調を維持する一方で、物価や資源価格の高騰による影響が続く等、厳しい状況で推移する中、道路工事や護岸工事等の公共工事の受注獲得に努めるとともに、ニーズのある産業廃棄物処分や再生材の販売に注力してまいりました。この結果、売上高は418百万円（前年同期比38.4%増）、セグメント利益は8百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度に比べ2,403百万円減少（5.6%減）し、40,483百万円となりました。増減の主な内容は、受取手形及び売掛金が1,725百万円、商品及び製品が730百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ3,050百万円減少（16.8%減）し、15,143百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が1,259百万円、電子記録債務が957百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ647百万円増加（2.6%増）し、25,340百万円となりました。増減の主な内容は、その他有価証券評価差額金が315百万円減少したものの、利益剰余金が925百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.6%と前連結会計年度に比べ5.0ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,179	7,503
受取手形及び売掛金	11,135	9,410
電子記録債権	3,678	3,997
商品及び製品	3,194	2,463
仕掛品	570	498
原材料及び貯蔵品	38	36
その他	948	947
貸倒引当金	△448	△464
流動資産合計	26,296	24,392
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	8,426	8,338
その他(純額)	3,388	3,448
有形固定資産合計	11,814	11,787
無形固定資産		
のれん	340	275
その他	367	324
無形固定資産合計	707	599
投資その他の資産		
投資有価証券	3,672	3,312
その他	417	415
貸倒引当金	△22	△24
投資その他の資産合計	4,067	3,703
固定資産合計	16,589	16,090
資産合計	42,886	40,483

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,315	6,055
電子記録債務	5,688	4,730
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1	—
リース債務	808	646
未払法人税等	480	272
賞与引当金	409	241
役員賞与引当金	92	53
その他	978	833
流動負債合計	16,775	13,833
固定負債		
その他の引当金	440	447
退職給付に係る負債	408	404
その他	569	457
固定負債合計	1,417	1,309
負債合計	18,193	15,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,032	1,036
利益剰余金	20,896	21,822
自己株式	△556	△547
株主資本合計	22,555	23,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,708	1,392
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	428	453
その他の包括利益累計額合計	2,137	1,846
純資産合計	24,692	25,340
負債純資産合計	42,886	40,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	27,488	27,034
売上原価	22,057	21,246
売上総利益	5,430	5,788
販売費及び一般管理費	3,400	3,587
営業利益	2,029	2,200
営業外収益		
受取利息	49	52
受取配当金	36	38
持分法による投資利益	31	34
その他	95	119
営業外収益合計	212	244
営業外費用		
支払利息	15	17
その他	0	0
営業外費用合計	16	17
経常利益	2,226	2,427
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	1	10
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	7
投資有価証券評価損	11	—
特別損失合計	14	7
税金等調整前四半期純利益	2,213	2,430
法人税、住民税及び事業税	647	757
法人税等調整額	125	85
法人税等合計	772	843
四半期純利益	1,441	1,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,441	1,587

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,441	1,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	417	△327
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	85	34
持分法適用会社に対する持分相当額	33	2
その他の包括利益合計	537	△290
四半期包括利益	1,978	1,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,978	1,296
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,091	17,093	302	27,488	—	27,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	19	—	64	△64	—
計	10,137	17,113	302	27,552	△64	27,488
セグメント利益又は損失(△)	1,266	1,260	△9	2,518	△488	2,029

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△488百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,243	16,371	418	27,034	—	27,034
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	18	—	77	△77	—
計	10,302	16,390	418	27,111	△77	27,034
セグメント利益	1,442	1,277	8	2,728	△528	2,200

(注) 1 セグメント利益の調整額△528百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,533百万円	1,574百万円
のれんの償却額	58百万円	65百万円